



たてやま議会だより

今回報告の定例会は

3月
12月 6月
9月

●令和2年6月号 ●No.129 ●発行/館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会事務局メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



3月下旬、議員有志により、市役所玄関
周辺に花の植栽を行いました。
花のいろどりが、皆さんにとって心の安ら
ぎになれば幸いです。

また、令和2年3月定例会は2月21日に招集され、3月24日までの33日間の会期で開催し、市長から提案された令和2年度一般会計予算、館山市副市長の選任等の人事案、条例議案、補正予算等の24議案と議会から提出された1議案について審議しました。



主な内容

- ★議案の概要 2～5頁
- ★一般質問等 6～11頁
- ★議決結果等 12頁

令和2年第1回臨時会は、2月7日に開催され、「ふるさと納税推進事業」「水産関連施設復旧緊急対策事業補助金」「第二中学校空調機整備事業」に係る一般会計補正予算について審議しました。

また、令和2年3月定例会は、2月21日に招集され、3月24日までの33日間の会期で開催し、市長から提案された令和2年度一般会計予算、館山市副市長の選任等の人事案、条例議案、補正予算等の24議案と議会から提出された1議案について審議しました。

令和2年第1回臨時会（2月7日開催）
**令和元年度館山市
一般会計補正予算を議決**
令和2年3月定例会
館山市一般会計予算などを議決

また、新年度予算に対する質疑については、各会派を代表して9人の議員が実施しました。

最終日には、一般議案・補正予算・追加議案の審議を行い、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決し、閉会しました。

第1回臨時会と3月定例会に提案された議案に対する主な審査内容
(結果は、最終ページに掲載)

◎第1回臨時会

議案第1号 令和元年度館山市一般会計補正予算(第9号) 歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ6944万4千円を追加し、総額331億906万8千円とするものです。
歳出の内容としては、総務



令和2年度一般会計・特別会計・下水道事業会計予算

単位：千円

| 会 計 名 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増減率(%) | |
|---------|------------|------------|-----------|------|
| 一 般 会 計 | 19,898,000 | 19,379,000 | 2.7 | |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険 | 6,082,725 | 5,840,047 | 4.2 |
| | 後期高齢者医療 | 808,444 | 753,062 | 7.4 |
| | 介護保険 | 5,908,577 | 5,917,593 | △0.2 |
| | 下水道事業 | - | 799,208 | 皆減 |
| 特別会計合計 | 12,799,746 | 13,309,910 | △3.8 | |
| 合 計 ① | 32,697,746 | 32,688,910 | 0.0 | |

| 公営企業 会計 | 下水道 事業 | 収益的支出 | 543,438 | - | 皆減 |
|------------|-----------|-------|-----------|---|----|
| | | 資本的支出 | 477,657 | - | 皆減 |
| | | 合計② | 1,021,095 | - | 皆減 |

| | | | |
|-----------|------------|------------|--|
| 総 計 (①+②) | 33,718,841 | 32,688,910 | |
|-----------|------------|------------|--|

◎3月定例会

費では、ふるさと納税寄附金の増加に伴う返礼品代等事業費の増加が見込まれることによるふるさと納税推進事業で4580万円の増、農林水産業費では、令和元年台風による災害に伴い、被災した水産関連施設及び設備の復旧事業に対し支援を行う水産関連施設復旧緊急対策事業補助金で2166万4千円の増、教育費では、第二中学校における学級数の増加に伴い、空調機を増設する第二中学校空調機整備事業で198万円を増額するもの。

◇議案第2号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について 館山市固定資産評価審査委員会委員の田辺利夫さんが令和2年3月22日をもって任期が満了するので、後任として、谷野秀紀さんを選任するもの。
◇議案第3号 議案第7号令和2年度館山市一般会計予算、3特別会計予算及び下水道事業会計予算 左表

◇議案第3号 令和2年度館山市一般会計予算

質疑(森 正一議員)

□(仮称)第二・第三統合中学校設計事業

問 国や県支出金の補助割合が想定より低い場合には、どのような対応を予定し、スケジュールへの影響は出ないのでしょうか。
答 補助の状況により、地方債の増額やスケジュールへの影響が生じることのないよう対応したいと考えています。

質疑(佐野 聖一議員)

□消防機材整備事業

問 消防団の機械器具購入に不足はないのか伺います。
答 消防団の資機材や団員の安全装備品は、消防団の要望を把握・検討した上で、毎年度、予算化・配備し、突発的な破損や不具合にも可能な限り対応してまいります。

質疑(石井 敏宏議員)

□若潮マラソン大会

問 若潮マラソン大会が、令和2年度に予算計上されていないのはなぜですか。
答 第41回大会は、民間企業等を加えた実行委員会による主催とし、各構成団体が役割を担い、エントリー料の徴収

や各種契約等も実行委員会において行うことを考えています。このため、令和2年度の予算計上は、歳入、歳出ともありません。

質疑(倉田 孝浩議員)

□防犯カメラ設置事業

問 防犯カメラの設置は市内9ヶ所とありますが、設置場所を告知するのはいかがでしょうか。
答 設置場所としては、市内小中学校周辺に設置する予定です。

具体的な設置場所については、設置箇所を避けた犯罪の発生が懸念されるため公表していませんが、設置した防犯カメラには、「防犯カメラ作動中」の表示をし、犯罪発生の抑止効果を引き出すこととしています。

質疑(龍崎 滋議員)

□国土強靱化地域計画策定事業

問 策定に際し、外部有識者や市民の参加はありますか。
答 国土強靱化地域計画は、大規模自然災害時に人命を守り、経済社会への被害が迅速に回復するために、安全・安心な社会を平時から作り上げていこうとする計画です。
館山市防災会議委員やパブリックコメントなど、幅広く

議案第3号討論

賛成討論 (望月 昇議員)

(仮称) 第二・第三統合中学校設計事業は、現在の第三学校の生徒の安全性を図るために早急に必要であること、新給食センターの建設も進めていく必要があることから賛成します。

賛成討論 (石井 敏宏議員)

第二・第三統合中学校事業 (教育費) は、これ以外に選択肢はないこと、船形バイパス事業は現時点でやらないということはできないことから賛成します。

反対討論 (室 厚美議員)

復興・復旧を最優先とした予算ではないこと、事業仕分けが遅れており、行政改革も進んでいないこと、(仮称) 第二・第三統合中学校設計事業を認めることは、今後の統合中学校の条例の制定を認めることになることなどから反対します。

反対討論 (鈴木 順子議員)

家庭相談事業 (民生費) の子ども家庭相談支援員を増やす必要があること、船形バイパス事業 (土木費) では、無電柱化が必要であること、第二・第三統合中学校事業 (教育費) は、もっと時間をかけて進めていく必要があることを指摘し、反対します。

意見を取り入れたいと考えています。

質疑 (鈴木 ひとみ議員)

地域公共交通利用促進事業

問 南房総・館山地域公共交通活性化協議会負担金は、南房総市と按分とありますが、50%の負担と考えてよいでしょうか。

答 令和2年度に南房総市との2市合同の協議会で実施する合同計画の策定や、同協議会の運営に要する費用の負担割合については折半するということと協議が整っています。

質疑 (太田 浩議員)

空家対策事業

空家の被害等も多くあったと聞いていますが、現状や今後の見通しはどうですか。

答 昨年の台風15号等による被災以降に、特定空家等に該当する所有者に改善を促す通知を行った件数は52件あります。特定空家等については、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいて対応していく考えです。

質疑 (室 厚美議員)

予算編成への取り組み方

問 復興・復旧を最優先にするために、事業の見直しをどのように行いましたか。
答 令和2年度当初予算は、昨年の台風災害からの復興・復旧を優先した予算編成とし、インフラ施設の改修費用など例年実施しているもので

も先送り可能なものは除いた予算としています。

質疑 (鈴木 順子議員)

生活支援体制整備事業

問 子どもからお年寄りまで支援する「まるごと支援」の具体的な事業内容を伺います。
答 今年度立ち上げた専門機関で構成する被災者支援連絡会や、異分野との連携を図るコーディネート機能を整備し、地域の困りごとを解決する「まるごと支援」の仕組みを進化させようとするものです。

議案第7号 令和2年度館山市下水道事業会計予算

質疑 (鈴木 順子議員)

問 令和2年度から地方公営企業法を適用することで

何が変わるのですか。
答 地方公営企業法を適用し、民間企業と同様の財務諸表を作成することで、経営成績や財政状況が明らかになり、事業経営の健全化につながるものと考えています。

議案第8号 館山市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和2年4月1日からの会計年度任用職員制度の導入に伴い、会計年度任用職員の任用形態や任用手続きにあわせた方法により服務の宣誓を行うことができるようにするもの。

質疑 (室 厚美議員)

産業医の具体的な業務内容について伺います。
答 安全衛生委員会として、専門的見地からの助言、職場巡視、ストレスを抱えた職員を対象とした面接指導や復職支援などをお願いしています。

議案第10号 館山市職員の給与等の一部を改正する条例の制定について

千葉県人事委員会の勧告に準じて、館山市職員の給与と給料表について、若年層に重点をおき、平均0.2%の引上げを行うとともに、期末・勤勉手当について、民間の支給割合に見合うように0.05月分を引き上げ、年4.5月分とするほか、民間の状況等を踏まえ、住居手当について家賃額の下限及び手当額の上限を引き上げるもの。

また、市長等特別職の期末手当について、一般職の勤勉手当の支給割合が改正されることとの均衡を考慮し、改正をするもの。

議案第9号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
平成31年4月に施行された労働安全衛生法の一部改正に伴い、産業医の機能が強化され、産業医の専門的見地による支援などの業務内容が拡充されたこと及び公職選挙法施行令の一部改正に伴い、投票管理者について、交替制が可能とされたことから、それぞれの報酬額について所要の改正をするもの。

質疑(室 厚美議員)

問 改正後の市長、副市長及び教育長の年間の給与及び手当の総額は、それぞれ合計でいくらになるか伺います。

答 市長の給料と期末手当の合計は、1423万3200円、副市長の給料等の合計は、1209万3千円、教育長の給料等の合計は、1118万8200円です。

三役の総額は、給料と期末手当の合計で3751万4400円となります。

議案第10号討論

反対討論

(室 厚美議員)

市長等特別職の期末手当の支給割合の改正について、今はまだ反対し中であることからです。

◇議案第11号 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 住民基本台帳法の一部が改正され、除かれた住民票及び除かれた戸籍の附票の交付等に関して明文化されたことに伴い、条文の整備をするもの。

◇議案第12号 館山市神余地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更すること

について 現在計画期間中である「館山市神余地区に係る公共的施設の総合整備計画」について、令和2年度に実施する予定の館山市消防団第8分団第19部詰所の建替事業の予定額に変更が生じたため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めるもの。

◇議案第13号 館山市西岬(西)地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて 現在計画期間中である「館山市西岬(西)地区に係る公共的施設の総合整備計画」について、令和2年度に実施する予定の市道4040号線の法面補修工事の予定額に変更が生じたため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めるもの。

◇議案第14号 館山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について 成年被後

見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、国の印鑑登録証明事務処理要領が改正されたことを踏まえ、印鑑の登録資格について、所要の整備をするもの。

◇議案第15号 館山市小規模埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、申請を制限する対象者から成年被後見人等を除くもの。

◇議案第16号 館山市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について 国の模範漁港管理規程例の一部が改正されたことに伴い、漁港施設の占用許可における占用の期間を10年以内にするもの。

◇議案第17号 令和元年度館山市一般会計補正予算(第10号) 歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ3億611万1千円を減額し、総額328億295

万7千円とするもの。

歳出の追加の主な内容は、総務費では、マイナンバー法の規定による事務等を担う地方公共団体情報システム機構への交付金を増額する個人番号制度事務で648万6千円、民生費では、令和元年台風による災害について、災害救助法に基づく被災住家の応急修理及び災害救助法の支援対象外の住家に対する補助を行う被災住家応急修理事業で1億4937万5千円、その他ほか、ふるさと納税寄附金の収入増加により、観光振興基金積立金で20億2027万円、子ども・子育て支援基金積立金で4111万5千円などの増額をするもの。歳出の減額の主な内容は、



農林水産業費では、被災した農業用施設及び機械に対し、再建、修繕及び撤去の取組を支援する強い農業・担い手づくり総合支援交付金について、要望受付後の事業精査の進捗による減で18億2427万5千円、土木費では、船形館山線道路整備事業について、用地交渉が難航したことによる関連事業費の減で1億9065万1千円などの減額をするもの。

質疑(室 厚美議員)

問 船形館山線道路整備事業(土木費)について、この時期に2億円近い予算の減額により、今後の交付金に影響は出てこないのか伺います。

答 内示を受けた交付金については、千葉県と協議を行った中で、他市町村への配分の調整が図られました。交付金の内示率は、これまでも年度により大きく変動してきますので、今後、交付金が希望どおり交付されるよう要望していきます。

質疑(石井 敏宏議員)

問 港湾施設整備事業(土木費)について、事業取り止めということだが、今後、



事業は行われぬのか、あるいは、また予算化する見込みはありますか。

答 港湾管理者である千葉県が、国の交付金を活用し事業を予定していた館山港耐震岸壁等の老朽化した港湾付帯設備の修繕・改良に係る工事費について、交付金の採択が受けられなかったため、事業実施を見送ったものです。

質疑（鈴木 順子議員）

問 船形バイパスの無電柱化について国へ要望できませんか。

答 船形バイパスは、災害時の避難路になり、無電柱化も必要と考えますので、できる限り財政面も考え、様々な方策を検討します。

議案第17号討論

反対討論

（鈴木 順子議員）

富浦インターチェンジ以南の今後の整備状況によっては、船形バイパスの計画変更が必要と考え、凍結を求め反対します。

◇議案第18号 令和元年度

館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ3億2339万円を追加し、総額61億6343万7千円とするもの。歳出では、一般被保険者療養給付費で1億7163万1千円の増など、また歳入では、繰越金などを増額するもの。

◇議案第19号 令和元年度

館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1170万1千円を減額し、総額7億4136万1千円とするもの。

歳出では、保険基盤安定繰入金額が確定したことによる後期高齢者医療広域連合納付金で1170万1

千円の減、歳入では、繰入金を減額するもの。

◇議案第20号 令和元年度

館山市介護保険特別会計補正予算（第3号）

Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ784万円を追加し、総額62億3603万8千円とするもの。歳出では、第1号保険料の余剰金を介護給付費準備基金に積み立てる介護給付費準備基金管理事務で784万円の増、また歳入では、国庫支出金を増額するもの。

◇議案第21号 令和元年度

館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ277万3千円を減額し、総額7億8923万6千円とするもの。

歳出では、ストックマネジメント実施設計業務委託料で138万円の減など、歳入では、繰入金などを減額するもの。

◇議案第22号 館山市定住

自立圏形成協定の議決に関する条例の制定について

館山市及び南房総市の間に於いて、基本方針、連携する政策分野及び取組の内容

並びに役割分担を定める定住自立圏形成協定を締結するに当たり、国が定めた定住自立圏構想推進要綱に基づき、議会の議決を経る必要がある。

このため、定住自立圏形成協定に関する事件を、地方自治法第96条第2項に規定する議決すべき事件として定める条例を制定するもの。

【追加議案】

◇議案第23号 令和元年度

館山市一般会計補正予算（第11号）

Ⅱ歳入予算の補正として、市債を5200万円増額し、財政調整基金繰入金を5200万円減額するもの。災害対策基本法に基づき総務大臣が指定した自治体が発行することができ、「歳入欠かん債」について、令和2年3月13日付で、館山市が対象団体として告示されたことから、地方債の追加をするもの。

また、大型バス購入事業及び消防施設整備事業において、千葉県が市町村に貸付を行う千葉県振興資金貸付金を活用し、財源の確保を図るため、地方債の変更をするもの。

発議案第1号討論

反対討論（室 厚美議員）

台風15号被害から、まだ半年しか経たない時期のため、期末手当引き上げには反対します。

反対討論（石井 敏宏議員）

千葉県人事委員会勧告は、議員を対象としていないと考えるので反対します。

◇議案第24号 館山市副市長の選任について

田中豊副市長が本年3月31日の任期満了をもって退任するので、その後任として、鈴木雄二さんを選任することに、市議会の同意を得るもの。

◇発議案第1号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和元年度の千葉県人事委員会勧告に準じた、市長等及び一般職職員の給与と併せて、期末手当について、改正するもの。

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。



長谷川 秀徳議員
1期目・58歳・船形
たてやま21・緑風会
建設経済委員会委員

台風15号等による住宅被害の被災者支援

問 台風15号等による住宅被害の被災者支援の現在の申込み件数・支援完了件数・支援実施期間・申請手続きの簡略化・支援漏れ対策について伺います。

答 住宅被害の支援事業は、応急修繕事業と修理緊急支援事業があり、2月17日現在合わせて3599件の支援申込みがあり、このうち市に修理業者から見積が提出された件数は、1985件で、補助金交付が決定した件数は、1139件です。修理工事が終わり、支払い手続きが完了した件数は、299件です。住宅被害の被災者支援は、災害救助法の適用期間の令和2年3月31日が事業の終了期

限であり、館山市としては、期限の延長について国、県に再三要望しているところであります。

支援手続きの簡略化については、県に災害救助法に基づく応急修理についても被災者に金銭を支給する制度に変更されるよう、要望書を提出しましたが、今回の回答は不可でした。

被災者支援漏れ対策は、罹災証明書を送付する際に、支援策の一覧を記載した書類を同封したほか、市の広報やホームページなどで周知を図ってまいりました。

解説 住宅被害の被災者支援の問題点は、支援実施期間の延長・申請手続きの複雑さ・支援漏れ対策などがあり、全ての被災者に支援が行き届きません。

今後、同様の事態が発生する場合には、災害救助法に基づく応急修理についても修繕緊急支援事業と同様、被災者へ、早々に、補助金として交付してもらいたいと思います。

被災者支援の窓口体制

問 被災者支援窓口体制について、申請手続きを効率よく申請、周知ができないか伺います。

答 申請手続きは、可能であった複数の支援策について一括して受付できる体制にし、住民票・罹災証明書の発行を専用ネットワーク設備の整ったコミュニティセンターに開設しました。

解説 申請手続き書類を簡略化し、公民館単位で窓口を開設していただきたいと思います。



石井 敏宏議員
3期目・48歳・上真会
たてやま21・緑風会
建設経済委員会委員長

台風シーズン前の災害復旧

問 強烈な台風が来ると屋根を覆っているブルーシートは飛ばされ電線に絡まり、飛ばされた土のうは他の家を破壊することが想定できます。



しかし、業者不足と被災者の家計状況によって、個人宅の修復の進捗がはかばかしくありません。市としての独自の対策があるのか伺います。

答 対象となる被災者の方には、災害救助法に基づく応急修理や修繕緊急支援事業の支援事業をご利用頂き、できる限り早く修復を行い、元通りの生活を取り戻していただくため、従来の担当職員に加えて、千葉県やその他の自治体からの職員の派遣や、館山市職員OBに支援を依頼するなど、支援事業の進捗を図るために懸命の努力を続けています。

館山市として独自の対策を行うことは大変難しいことから、業者不足に起因する進捗の遅れの対策としては、館山市がコミュニティセンターに設置した被災者総合支援窓口に合わせて、一般社団法人全国木造建設事業協会による「被災住宅工事相談窓口」の

出張受付を受け入れ、窓口を開設しました。また、家計状況に起因する進捗の遅れが生じているケースについては、被災者総合支援窓口において、各種支援策を案内することと対応したところであります。

被災者支援の窓口体制

問 自宅避難者の生活は、雨漏り・カビ・隙間風・ブルーシートが風でバタバタする音などに悩まされ、悪環境であると思いますが、健康面・資金面等の支援は行き届いているのでしょうか。

答 子どもからお年寄り、障害をお持ちの方まで、「まるごと支援」を旨指す地域包括ケアシステムの枠組みを活用し、令和元年11月15日に被災者支援連絡会を発足しました。

この連絡会では、高齢者福祉課と社会福祉協議会が窓口となり、教育及び健康福祉の関係課や地域包括支援センターを含む福祉関係事業所が連携して、被災された方々の個々のニーズを吸い上げ、情報共有と支援策の検討を行い、積極的に訪問を行うなど、個別に対応しています。



龍崎 滋議員
3期目・66歳・広瀬
公明党・建設経済委員
会副委員長

ふるさと納税による
高額な寄附金

問 ふるさと納税による高額な寄附金の使途について市の考えを伺います。

答 前澤氏からの20億円のふるさと納税寄附金については、「観光振興に関する事業」を使途として頂戴しており、観光振興基金に積み立てた後、観光振興の分野で活用しますが、市の将来も展望した中で具体的な使途について検討しています。

解説 市の総合計画や総合戦略に位置づけられた、館山市のまちづくりと合致して観光振興の核となる事業などに活用したいとのことから、これまで、財政的な理由などにより中断している「たてやま食のまちづくり計画」の拠点整備や流通に関するソフト事業の必要性を述べました。
特に、食のまちづくりは観光産業と密接に関連し、多く

の市民が関わることでできる経済活動であることや、活性化を直接感じられる優先順位の高い活性化策であることから、寄附金の使途としての優先度が高い最大のチャンスと述べました。

河川等の減災対策

問 河川等の減災対策について、要対策箇所や財源などの課題を伺います。

答 今後、河川等の復旧工事が必要な件数は19件あり、そのすべてを令和元年度の補正予算や令和2年度当初予算に計上しているところで、工事に比較し施工業者の不足が懸念されます。

解説 昨年の大雨による滝川上流域の河川の氾濫や国分高井揚水機場、大宮堰の土砂の堆積など、個別の案件を取りあげて、今後の対策や浚渫工事の必要性を述べました。
また、二級河川滝川の河川改修促進協議会により毎年行われている県への要望活動の際に、早期改修の必要性を強く訴えることを要請しました。

幼児教育・保育の無償化の
評価とその課題

問 幼児教育や保育の無償化の評価について、質の向上や改善などの取り組みを伺います。

答 これまで、公立保育園・こども園に必要な保育士を配置するほか、接続コーディネートターの配置や、職員の研修を実施するなど、職員のスキルアップと保育の質の向上に努めています。市内の私立保育園に対しては、処遇改善



鈴木 順子議員
8期目・70歳・下真倉
社会民主党・文教民生
委員会副委員長

地域公共交通の充実

問 地域公共交通の充実への取り組みの詳細と高齢者や障がい者など社会的弱者への対応をどう生かしていくのか伺います。

答 地域公共交通の取り組みは、路線バスの再編や新たな交通システムの導入など将来にわたって持続可能な公共交通を構築し、高齢者だけでなく、地域外から訪れる方や、

として、平成29年度から保育士一人あたり月額2万円を加算し、助成を行っています。
解説 幼児教育や保育の無償化には高い評価がある一方で、無償化対象外の事業者や利用者からは低い評価となりました。今後、幼稚園類似施設等への制度の拡充が見込まれる中で、保育の多様性への理解と支援の必要性を述べました。

これから公共交通を必要とする方にとって、自動車に頼らなくても移動しやすい環境を整備していくことで、住みやすさや活力に満ちた地域社会を目指していくことが大きな狙いです。

解説 高齢者や体の不自由な方々、すべての方が利用できる交通体系を目標に、交通に困っている人の生の声を聴き、市内はもとより近隣自治体間を含めた交通のネットワークを目指してほしいと考えます。

福祉のまちづくり

問 市と社会福祉協議会を中心とした地域包括支援センターのまちづくりの取り組みと再構築をどう進めていくのか伺います。

答 平成30年度から社会福祉協議会が交通弱者対策等地域づくり推進事業において、介護分野に関わるようになったことで、地域包括支援センターのこれまでの取り組みに加え、高齢者だけでなく、その地域に暮らす多くの人々が参加する地域づくりへと広がるきっかけとなりました。

そして、この度の災害で、地域住民同士の声かけや助け合いで見つかった問題を把握し、必要な支援につなげていく地域包括ケアシステムが重要であると再認識し、子どもからお年寄り、障害をお持ちの方まで、一人も取りこぼさず「まるごと支援」できるよ

う被災者支援連絡会を立ち上げました。今後も地域づくりを更に推進していきたいと考えています。

解説 災害時、区長をはじめ、民生委員、児童委員などが地域住民に声かけ、助け合いの活動を行われたことは認識しましたが、地域毎に温度差もあり、課題も多いと考えます。地区間同士の学び合いの必要性を考えますので、出前講座などを利用したらどうかと考えます。



森 正一議員
3期目・53歳・八幡たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

第三中学校の校舎建て替え等

問 防衛補助申請の経過、新校舎完成までの最短スケジュールについて伺います。

答 現在、補助事業内定通知を大いに期待して待つているところですが、また、スケジュールに関しては、令和2年度に実施設計、令和3年度に解体工事を行い、令和4年度に校舎等の建設工事に着手し、令和6年3月の完成を目指しています。

問 緊急事態における、三中生の二中学校舎への移動に備えた対応の検討や準備について伺います。

答 緊急的に三中生が二中学校舎に移転することになった場合には、その状況により具体的に検討していくこととなりますが、緊急時にも対応できるように、備品移動に関する令和2年度当初予算案を提出しています。

問 二中と三中の統合を機に、一中や房南中の統合についても検討を始めるべきではないですか。

答 館山市学校再編調査検討委員会で審議しており、今後示される答申を踏まえ、令和2年度中には「館山市学校再編基本指針」の見直しも含め、将来的な学校の適正規模について検討していきます。

今後の経済・観光施策

問 昨年の台風等により甚大な被害を受けた、館山市の観光・経済を復活させ、さらに発展させるための施策について伺います。

答 災害からの本格的な復旧・復興に向け、被災者の生活再建をはじめ、市内経済に活力を取り戻すため、農水産業や商工業、観光業の復旧・復興に向けた取り組みの推進を最優先に市政運営を進めていきます。農水産業では、農業基盤の復旧に全力で取り組むことにより、生産体制の確保を図ります。商工業では、中小企業の復興支援のための融資制度等の利子補給率の優遇、リノベーションまちづく

りによる遊休不動産の活用などにより、地域経済の活性化を目指します。また、観光業では、旅行宿泊料金の割引を支援する「千葉県ふっこう割」が2月末まで実施され、現在は「千葉県中小企業復旧支援補助金」の活用を広くPRしています。このような多方面における様々な取り組みを通じて、館山市の経済の復興に全力で取り組み、さらに発展させていきます。



望月 昇議員
3期目・62歳・北条新政クラブ
総務委員会委員長

JR館山駅東口の整備

問 エリアリノベーションの取り組みの中で、東口再生に向けてどのような方向性が出たのか伺います。

答 リノベーションまちづくりは、まちなかの空き店舗や空き家などについて、起業、創業意欲のある人材が新しい

産が活用され、新たな事業が展開される可能性が高まったものと考えています。今後の方向性については、短期的には、今年度のリノベーションスクールでの実績を踏まえ、事業化に向けた支援をしながら新たな遊休不動産の活用を検討し、長期的には、公共施設や公共空間の活用方策も含め、リノベーションまちづくりを進めていきます。

使用方により、利活用を図ることでまちを再生する民間主導の公民連携事業です。今年度は、11月にリノベーションスクール事前講演会、また、1月10日から12日までの3日間で行ったリノベーションスクールの開催しました。幅広い年齢層の参加者30名が3グループに分かれ、3つの空き店舗の活用方策について専門家の意見を伺いながら集中的に考えていただきました。東口エリアの現状向き合うとともに、エリアの未来予想図を描くことができ、エリアの価値やまちの魅力が再発見されました。これにより、館山駅東口エリアの遊休不動

第40回 館山若潮マラソン大会

問 災害復興、市制施行80周年、東京オリンピック・パラリンピック等を運営方法にどのように反映したかについて伺います。

答 台風被害により、コース上の一部が長い期間通行止めであったり、例年規模の応援職員数を大会に充てられなかったりと一時はその開催も危惧された中、運営方法の一部見直しや民間企業から外部人材を充てるなど対応し、大会開催にこぎつけました。参加者からは「館山を元気づけるために参加したのに逆に多くの勇気と元気をもらった」など紹介しきれないほど

の感謝の言葉が数多く寄せられ、復興元年にふさわしい「スポーツで元気に！」の大会であつたと自負しています。

また、第40回の記念大会として、40年連続出場者や大会協力団体、男女各総合40位への表彰、オリンピックイヤーとして、ゴールドメダリストの田村悦智子さんにスタターをお願いするなど節目にふさわしい催しも行いました。



石井 敬之議員
3期目・64歳・湊
市民クラブ
総務委員会副委員長

地域高規格道路「館山・鴨川道路」整備促進

問 館山市・旧和田町間の区間は「調査区間」に指定されているが、実務的に整備に関する調査は行われましたか。

答 館山・鴨川間道路交通対策検討会では、館山市から旧和田町間を含む、館山から鴨川までの区間において、道路交通課題の抽出や整理などが進められています。

解説 鴨川市にある高度救急医療施設への搬送時間の短縮や、半島性の解消や観光客の増加など地域経済の波及効果を得るためにも、自動車専用道路の整備が一刻も早く求められると思います。

台風15号・19号の被災に対する今後の復興

問 「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」の申請について、申請の仕方が難しくあきらめてしまう方はいませんか。

答 申請をされた農業者の中には、途中で申請を取り下げられる方もいます。

補助金の申請書類は、被災箇所の写真や見積書や受発注書、農業用倉庫の建築確認申請書類などの提出や、作業日誌の作成など、手続きが面倒だと伺っておりますが、農業者の事務負担の軽減を図るため、できるだけサポートしながら書類の提出をお願いしています。

エリアリノベーション

問 エリアリノベーションの手法による、館山駅東口地区の再生に館山市としてどのよ

うに関わっていくのですか。

答 起業希望者の支援として、起業支援補助金や創業支援セミナー等を通じて、起業しやすい環境を整備し、機運の醸成を図ります。

また、リノベーションまちづくりを推進することにより、起業希望者と不動産オーナーとの共通理解が生まれ、遊休不動産の活用が促進し、館山駅東口地区が活性化して



榎本 祐三議員
5期目・74歳・笠名
たてやま21・緑風会
総務委員会委員

台風15号後の災害対応

問 この度の災害に関して「平素からの備え」、「直面する危機への対応」、「復旧・復興への対応」に区分してどのような教訓があり、今後どのような取り組みをされますか。

答 職員も総出で対応しましたが、市民の自助、共助が不可欠である教訓も得られたので、地域防災計画や各種対応

いくものと考えています。

解説 館山駅東口地区における再生の目的が地域の活性化であると考えた場合、行政として館山駅周辺の全体的なブランドデザインを持ち、将来どのようにしたいかとの構想実現のために、「観光プログラムの開発・充実」「アクセスの拡充」など早急に進めるべきです。

また、停電における情報伝達や情報収集についても検討していきます。

復旧・復興では、災害ボランティアセンターの運営や災害ゴミの受け入れ対応について、関係機関とも連携して検討していきます。

解説 この度の災害に関して多くの教訓があり、それらを重く受け止め、今後に生かすことが求められています。

特に市民の自助、共助の活動がこのような大災害時には不可欠であり、活動実現のための提言を行いました。

今後地域防災計画や各種対応マニュアルに教訓を反映さ

せるとのことですので、今後とも推移を見守っていきます。

前澤氏からのふるさと納税20億円

問 「観光振興に関する事業へ」とのことであつたが、前澤氏の意向に沿った有効な活用はどう考えていますか。

答 観光振興基金に積み立てた後、観光振興の分野で活用していくこととなりますが、金額がかなりの高額なことから、この先10年、20年、30年先を見据えて館山市の発展に寄与する事業に活用できるように、具体的な使途について検討しているところです。

解説 前澤氏のおふるさと納税は、金額もさることながら全国から注目されているものであり、館山市の観光振興の起爆剤になるのではないかと期待しているところです。

したがって、他のものと区別して観光振興基金（前澤基金）とすることを提案しました。その使途については、館山市が5年前から計画してきた「食のまちづくり」の拠点整備に使うことと、残余の基金については、広く市民等から観光振興に関する事業を募集することを提言しました。



鈴木 ひとみ議員
1期目・61歳・佐野
新政クラブ
文教民生委員会委員

自主防災会

問 災害時、自主防災会がどのように動くべきと考え、指示をしていますか。また、日ごろの訓練について伺います。

答 自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神のもと、地域住民が、地域の被害状況などの情報収集や情報伝達、高齢者などの要援護者への避難誘導や在宅避難をしている方々の把握、支援助資等の配布など、様々な活動が期待されています。



「アル」に示してあり、これを参考に各地区で自主的な活動を展開している状況です。いざというときに自主的に活動できる体制ができるよう、支援・助言を行っているところ
問 館山市の防災マップの凡例で、指定避難場所、指定津波一時避難場所、地区の津波一時避難場所、地区の一時避難場所とあるが、これらの区別とそれぞれの場所に表示がされているかを伺います。
答 指定避難場所、指定津波一時避難場所は、館山市が市民に対し、災害から命を守るために緊急的に非難する場所として定めた公的避難場所
で、現地には表示看板を設置しています。

津波対策

一方、地区の一時避難場所、地区の津波一時避難場所は、地区が地区住民のために地区自らが指定した避難場所
で、現地には館山市による表示看板の設置はありませんが、館山市防災マップではその位置を表示しています。
解説 いざというとき、地域での助け合いが大切であり、

自主防災会がその要となりま
す。昨年の台風災害で、自主
防災会が十分機能しなかった
ところもあります。「自主防
災活動マニュアル」も引継ぎ
されていない地区が大半です。
災害のための備えはできて
いるか、災害が起きた時、誰
がどう動くか、津波が来た時
どこへどう逃げるか、要支援
者はどうするのかなどの話し
合いを各地区で進めていって
ほしいと思います。



秋山 光章議員
5期目・73歳・大井
市民クラブ
建設経済委員会委員

ふるさと納税

問 前澤氏から20億円と多額のふるさと納税を頂いた時、市長はどのように感じましたか。

答 個人による災害支援の寄附金として、既に1000万円と高額
の寄附を頂いていたこともあり、ふるさと納税寄附金としても、かつてないほど非常に高額な寄附であつ



たことから、大変驚きました。
また、ほかの多くの皆様方から寄せられたふるさと納税寄附金と同様に、館山市を選んでご寄附頂いたことに対し、深い感謝の念を抱きました。

問 前澤氏のコメントには「館山市は地域資源が豊富でいポテンシャルがある。地域活性化に向け応援したい」とあるが、館山市の高いポテンシャルとは何ですか。

答 1つ目は、海の魅力です。三方を海で囲まれ、内湾と外洋といった変化に富んだ風光明媚な海は、市民の宝であり大切な財産です。マリンスポーツや海水浴の適地として知られるだけでなく、オープンウォータースイミングなどの競技大会の開催地としても定着しています。
2つ目は、豊かな農水産物です。温暖な気候と緑豊かな大地、沖合には黒潮と親潮の寒暖両流がぶつかる豊かな漁

場を有することで、花や果実、野菜などの多彩な農産物や新鮮な海産物に恵まれ、この地域は「食材の宝庫」として、これらの「食」の魅力は地域内外から高く評価されていると感じています。

また、「西岬のひまわり」、「かんべレタス」など、地域が誇るブランド化された作物もあります。

3つ目は、歴史文化や伝統工芸です。城山公園など戦国大名里見氏ゆかりの史跡や、安房神社などの寺社仏閣、戦争遺跡である「館山海軍航空隊赤山地下壕跡」、青木繁「海の幸」ゆかりの「小谷家住宅」、昨年点灯100周年を迎えた「洲崎灯台」などは来訪者が数多く訪れる歴史文化遺産です。

また、伝統工芸としては、この地域が誇る日本3大うちわの一つである「房州うちわ」があります。

解説 赤山地下壕跡のワインセラーへの利用、里見氏の大河ドラマ化、国の文化財に指定された稲村城跡と同地区の旧公設市場予定地の農村交流拠点道の駅、ヨットの似合う鏡ヶ浦などのポテンシャルをメディアで広報すべきであると提案しました。



室 厚美議員
2期目・54歳・波左間
新しい風の会
総務委員会委員

子どもの貧困

問 子どもの貧困について、現状をどのように把握しているか伺います。

答 民生委員、児童委員、保健推進員などの活動、こども園や保育園、学校における日々の観察、子どもやひとり親家庭等に対する手当などの申請の際における現状把握などを中心に、子どもが抱えている課題として把握しています。

子どもの貧困については、見えにくい、把握しにくい、といった性質を持った課題であり、慎重かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。



解説 全国で子どもの7人に1人が相対的貧困状態にあると言われていました。平成25年に初めて名称に「貧困」がついた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定され、

昨年度の法改正では市町村にも子どもの貧困対策計画の策定が努力義務化されました。生まれ育った環境によって人生が左右されることのないよう貧困の連鎖を断ち切ることに大切です。先ずは色々な要素が絡み合う子どもの貧困問題について、広く市民にも関心を持ってもらえるよう場作りを訴えました。

LGBT等の性的マイノリティへの配慮・支援

問 最近の館山市の取り組みを伺います。

答 平成29年度に策定した第4期館山市男女共同参画推進プランにおいて「LGBTの方をはじめとした少数者の方々に対する無理解をなくし、多様性を認め、受け入れることができる意識作りを行う」と定めています。

また、印鑑証明書や選挙の期日前投票宣誓書の性別欄の廃止等も実施しています。
解説 性的マイノリティは日

本人の8.9%とも言われますが、差別偏見が根強いいため、当事者が声を上げられず、居ないものと思われて支援も行き届かないという現状があります。意識改革のためにも



瀬能 孝夫議員
3期目・62歳・佐野
公明党
文教民生委員会委員

風疹対策

問 風疹対策として、抗体検査と予防接種の実施状況及びその推進について伺います。

答 今年度の無料クーポン券配布対象者に限った人数は2091人。その内、360人が抗体検査を受け、抗体が低いとされた人は111人、その中で予防接種実施者は84人です。

抗体保有率の低い世代の男性の抗体検査・予防接種を進めるため、個人通知以外に、周囲の方々への周知の意味も含めて、市の広報やホームページ等でお知らせしているところですが。

今、全国自治体で急速に広まっている同性カップルの関係を認める「パートナーシップ制度」の導入を検討するよう要望しました。

なお、対象者で検査を受けていない方や予防接種の対象となつた方には、5月に再勧奨通知を発送する予定です。

解説 1962年度から1978年度に生まれた男性はワクチン定期接種の機会がなかった世代で、風疹の抗体保有率が低い可能性があります。

妊娠初期の女性が感染すると、胎児が難聴や白内障、心疾患など「先天性風疹症候群」になつて生まれる可能性があるため、社会問題として捉える側面もあります。

現在、抗体検査の受診率が低い状況にあり、個人勧奨の推進とともに、社会としても企業の協力を得るなど、予防接種を社会の責任として推進していくことが肝要です。



災害対策

問 無電柱化について伺います。

答 莫大な事業費が必要となり、財政的に難しい一方で、防災性の向上や良好な景観などの利点があり、国・県においても推進する動きもありますので、今後、安価な工法など整備手法について調査・研究していきます。

解説 昨年の台風では県内だけで千本を超える電柱が損傷を受け、二次災害として建物等への損傷や交通の妨げ等も発生し、電線も倒木による断線被害などが多発しました。

その復旧には多大な費用と、労力や時間もかかりました。同じ復旧方法では、同規模の台風が襲来すると、繰り返す懸念があります。

次への備えとして、同様の災害を回避するための「改良復旧」という視点が重要です。地中化による敷設時のコストのみで判断するのではなく、様々な要因を勘案し、安価な工法や相応しい敷設箇所など、賢明に選定する検討を求めました。

令和2年第1回臨時会提出議案議決結果

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|-------|-----------------------|-----------|
| 議案第1号 | 令和元年度館山市一般会計補正予算(第9号) | 原案可決 全会一致 |

令和2年第1回定例会提出議案等議決結果

今回、委員会への付託はありませんでした。

| 議案等番号 | 件名 | 議決結果 |
|--------|--|-----------|
| 議案第2号 | 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について | 原案同意 全会一致 |
| 議案第3号 | 令和2年度館山市一般会計予算 | 原案可決 賛成多数 |
| 議案第4号 | 令和2年度館山市国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 全会一致 |
| 議案第5号 | 令和2年度館山市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 全会一致 |
| 議案第6号 | 令和2年度館山市介護保険特別会計予算 | 原案可決 全会一致 |
| 議案第7号 | 令和2年度館山市下水道事業会計予算 | 原案可決 全会一致 |
| 議案第8号 | 館山市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第9号 | 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第10号 | 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 賛成多数 |
| 議案第11号 | 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第12号 | 館山市神余地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて | 原案可決 全会一致 |
| 議案第13号 | 館山市西岬(西)地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて | 原案可決 全会一致 |
| 議案第14号 | 館山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第15号 | 館山市小規模埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第16号 | 館山市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第17号 | 令和元年度館山市一般会計補正予算(第10号) | 原案可決 賛成多数 |
| 議案第18号 | 令和元年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 全会一致 |
| 議案第19号 | 令和元年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 全会一致 |
| 議案第20号 | 令和元年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 全会一致 |
| 議案第21号 | 令和元年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 全会一致 |
| 議案第22号 | 館山市定住自立圏形成協定の議決に関する条例の制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議案第23号 | 令和元年度館山市一般会計補正予算(第11号) | 原案可決 全会一致 |
| 議案第24号 | 館山市副市長の選任について | 原案同意 全会一致 |
| 発議案第1号 | 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 賛成多数 |

議案等の賛否(賛否が分かれたもののみ掲載)

(議席番号順)

| 議案等番号 | 議員名 | 佐野聖一 | 長谷川秀徳 | 倉田孝浩 | 鈴木ひとみ | 室厚美 | 石井敏宏 | 森正一 | 瀬能孝夫 | 望月昇 | 石井敬之 | 太田浩 | 龍崎滋 | 石井信重 | 鈴木正一 | 秋山光章 | 榎本祐三 | 本橋亮一 | 鈴木順子 | |
|--------|-----|------|-------|------|-------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|---|
| 議案第3号 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | |
| 議案第10号 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第17号 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 発議案第1号 | | × | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

編集後記

令和2年3月定例会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年の台風での被災対応議会と同様に、日程を変更して行いました。過去に例がない対応が続ぎ、議会としても以前のように議案に対し、常任委員会に付託し十分に審議ができるようにしたいと考えています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、千葉県にも「緊急事態措置」が発令されました。いろいろな面で規制がされましたが、一日も早く以前のように平穏な生活に戻るためには、今が大事です。健康に留意され、この難関を乗り越えましょう。

(石井 敬之)

* 議会報編集委員会 *
 ◎委員長 ○副委員長

◎石井 敬之 ○石井 敏宏
 望月 昇 鈴木 正一

議会や議会だよりに関する
 ことのご意見、ご質問等は議
 会事務局まで電話またはメー
 ル(番号及びアドレスは表紙
 参照)でご連絡ください。